



運転免許と視力

運転免許の更新が近づいてくると気になるのは視力ですね。高齢者の方は特に白内障などが進行するといつの間にか視力が落ちていきますから注意が必要です。

普通免許においては、「**視力が両眼で0.7以上、片目で0.3以上**」で合格となります。片眼の視力が悪い場合のみ視野が検討されることになっております。

実際には、会場で視力を測定するのが警察官で、厳しめな検査官もいれば、優しめな検査官もいますので、ギリギリの方が、何とかパスできたという話はよく聞きます。でも、安全な運転を心がけるためには、良好な視力がいいに決まっていますね。不安な方は早めの診察を受けてください。



3歳児眼科検診

3歳児眼科検診の目的は弱視を含む眼の疾病及び異常の早期発見です。

一般的な方法（3段階）

- ①アンケート方式問診と**家庭**での視力検査を行う。
- ②**自治体の健診会場**で左右どちらかが0.5未満、問診の結果で異常がある場合に視力の再検査や医師の診察が行われ、要精密検査となると眼科医療機関への受診勧告がされます。
- ③**各医療機関**で精密検査を行い、弱視の早期発見、疾患の早期発見が進められます。



実際には3歳児検診ですと検査ができるお子さんが約83.9%という報告もあり、嫌がってしまったり全員のお子さんができるわけではありません。その場合、複数回で判断していく必要があります。